

異常な気候変動に備えましょう！

昨年秋から継続中のラニーニャ現象が今夏の前半も続く可能性が高いと気象庁が発表しました。ラニーニャ現象は世界的な異常気象を引き起こす可能性があり、特徴として日本近海で台風が発生し、すぐに日本に接近・上陸する可能性があります。また、台風の発生位置が通常より西側にずれる傾向があり、今年の台風について、西日本ではより警戒が必要となります。

黒潮大蛇行についても 2017 年より継続し、観測史上最長期間となり、不漁や低水温による漁業への影響が懸念されます。

自然を相手にする漁業者にとって気候変動による不漁や、養殖物、漁業施設の被害等、経営リスクはとて大きいです。さらに、ロシアのウクライナ侵略等による燃油価格の高騰で漁業経営は圧迫しています。

自然災害による影響がないことを祈るばかりですが、激甚化する台風や豪雨等の自然災害へのセーフティネットとして、「ぎょさい」と「積立ぷらす」は更に漁業経営安定対策として重要になると思います。

令和 4 年度の加入実績 (5 月末累計)

(単位：百万円)

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	53,870	55,895	96%	3,669	3,578	103%
養 殖 共 済	96,200	114,317	84%	3,717	4,762	78%
特 定 養 殖 共 済	1,575	1,571	100%	60	58	104%
漁 業 施 設 共 済	6,014	5,991	100%			
地 域 共 済	1,196	1,372	87%			
合 計	158,854	179,147	89%	7,446	8,398	89%